

同窓会会員数

(2022年3月現在)

旧高女卒	2,043名
旧因島高校卒	15,206名
旧因島北高校卒	7,852名
因島高校卒	3,012名
計	28,113名

定時制・分校卒業者含む



広島県立
因島高等学校
同窓会報

2022年2月20日発行

発行者 広島県立因島高等学校同窓会
会長 村上弘文
事務局 尾道市因島重井町5574
(因島高等学校内)
電話 (0845) 24-0708
FAX (0845) 24-3585

<http://0845.booo.jp/doso/>

広島県立因島高等学校 創立100周年記念式典



創立100周年記念式典

同窓会会員の皆様お元気ですか



今年は寒暖の差が激しく、その上新型コロナオミクロン株が猛威を奮っていますが、皆様方がご健勝でありますことお慶び申し上げます。また、日頃から同窓会の運営に深いご理解とご協力賜っておりますことに深く感謝申し上げます。

私たちの母校、因島高校創立100周年は、昨年10月30日に教育委員会教育長、広島県会議員、平谷尾道市長はじめ多くの来賓を迎え在校生と一緒に無事記念式典を行いお祝いすることが出来ました。

同窓会会員の活動により、島民の皆様・各企業・同窓生の皆様方の多大なるご寄付を、目標額以上に賜る事が

因島高校同窓会会長 村上弘文

でき、体育館の冷風扇設置、各教室にICT教育機器設置、トレーニング機器の拡充整備、プラネタリウム補修、ラーニングコモンズ教室拡充・機器設置等と多数の教育環境整備を行うことが出来ました。心よりお礼申し上げます。

今後も、因島高校同窓会は地域社会に融和し様々な貢献活動と教育環境整備協力に邁進してまいりたいと考えます。

尚、次期同窓会会長を木村修二氏に予定しております。私にも増して皆様方のご支援、ご協力を節にお願いいたしまして挨拶と致します。

誠にありがとうございました。

因島高校同窓会のホームページを開設しています。 <http://0845.booo.jp/doso/>

因島の明日をつくる

広島県立因島高等学校
校長 倉田 雄 司



同窓会の皆様には、平素から母校の教育活動の推進に対し、物心両面にわたり、御支援・御協力を賜り、心からお礼申し上げます。

本年度、10月30日に、新型コロナウイルスの影響で1年延期した創立百周年記念行事を開催することができました。将来同窓生となる生徒が主体となった式典となるよう時間をかけて準備してまいりました。お陰様で、式典に出席していただいた多くの方から、式典当日の生徒の動きや表情についてお褒めの言葉を頂戴することができました。自分事として主体的に関わることで、生徒はこれほどまでに成長するのだと、改めて感じた次第です。

当日の記念行事では、記念講演の講師として株式会社クボタ代表取締役社長北尾裕一様をお招きし、創業者である久保田権四郎翁とクボタの歩みについて多くのスライド資料を基にお話いただいたことは、生徒にとりまして、まさに郷土に対する誇りを強く意識する機会となりました。

また、当日の記念行事のみならず、多くの記念事業を実施していただきました。その最たるものが教育環境の整備です。具体的には各ホームルーム教室、会議室、トレーニングルーム等へのICT環境整備、プラネタリウムの修繕整備、46番教室のアクティブラーニング環境整備、コミュニティスクエアへのラーニングコモンズ設置、トレーニングルームや体育館の体力づくり等環境整備です。これにより、因島高校は、学校全体がワクワクした学びを生徒に提供する場に生まれ変わりました。さらには、本校美術部の生徒のデザインをもとに記念ポスターや記念タオルを制作していただき、島内の事業所等への掲示、小中学生への配布を通して、本校を強くアピールすることができました。この他にも、記念碑整備・庭園整備、百周年記念誌の発行、寄附者銘板の設置など、どれも百周年の節目に相応しい内容の事業であり、因島高校同窓会の力をひしひしと感じております。

私たち教職員は、島内唯一の高等学校として、自他を尊重する心と進取の精神をもち、しまなみ地域の持続的な発展を牽引し地球規模の問題解決に寄与する人材を育成する、という本校の教育目標の実現に向けて、生徒が「当事者意識をもち、自分で考え、対話する力」を身に付けるべく引き続き微力を尽くしてまいります。今後とも、母校で学ぶ生徒たちへの温かい御支援・御協力をお願い申し上げます。



全日制課程
令和3年4月～

進路状況 【令和2年度卒業生】

2年連続

入学時偏差値50以上の

生徒の全員が国公立大学へ合格!!

(因島高校以外の尾三地区校では例年7割程度の合格率)

国公立大学 6名合格!

国公立大学

岡山大学 法学部 島根大学 総理工学部
山口大学 工学部 兵庫県立大学 国際商経学部
長崎県立大学 経営学部
山口小野田市立東京理科大学 工学部



【令和2年度卒業生の主な進学・就職先】

国公立短期大学 2名合格!

国公立短期大学

倉敷市立短期大学 保育学科
福山職業能力開発短期大学校 電子情報技術科

難関私立大学 6名合格!

難関私立大学

立命館大学 法学部 2名
関西学院大学 法学部・経済学部
関西大学 法学部 同志社女子大学 現代社会学部

公務員 3名合格!

公務員

陸上自衛隊 2名 上島町役場

就職

万田発酵株式会社 株式会社アイメックス
株式会社クボタ 日本郵便株式会社中国支店
株式会社三和ドック J A尾道 リョービ株式会社
株式会社瀬戸田リゾート 福山スチールセンター株式会社
J F E スチール株式会社西日本製鉄所 など

私立大学・私立短期大学・医療系専門等

京都女子大学 神戸学院大学 武庫川女子大学
 吉備国際大学 広島修道大学 福山大学 福山平成大学
 安田女子大学 広島経済大学 広島工業大学
 川崎医療短期大学 広島文化学園短期大学
 国立岡山医療センター附属岡山看護助産学校
 広島県立三次看護専門学校 岡山済生会看護専門学校
 尾道市医師会看護専門学校 岡山医療福祉専門学校
 福山医療専門学校 広島県厚生連尾道看護専門学校
 福山歯科衛生士学校 福山医師会看護専門学校
 尾道福祉専門学校など

◎入学式

4月7日(水)、66名の新入生を迎え、入学式を挙行了しました。倉田雄司校長が、高校生活では「多様性を尊重」し、「自ら進んで学ぶ」ことを実行してほしいと式辞の中で述べました。これからの社会をより善く生きていく方をしっかりとつけ、新たな青春の1ページを因島高校で作る、因島高校で学んでよかったと思える高校生活を送ってほしいと願っています。



◎昨年度CITRUSの成果!

2年生「因島の明日をつくる」プロフェッショナルインタビューのPR動画・冊子完成!

➡ もみじ銀行田熊支店や因島図書館に展示していただきました!



◎3年生CITRUSII課題研究!

➡ 研究成果のパネルをもみじ銀行因島田熊支店さんが展示してくださいました!



◎2年生有志「ひろしまの仕事図鑑」完成!

➡ 県内5つの県立高校(広島観音高校・安芸南高校・大崎海星高校・御調高校・因島高校)の高校生によるオンライン地域協働学習の学校間プロジェクトに参加しました。



▲因島の働く大人にインタビューをさせていただきました。



▲完成した冊子

➡因島高校のホームページにも掲載しています↓



◎文化祭を開催しました!

6月18日(金)、因島高校文化祭を開催しました。今年の文化祭テーマは「永劫回帰」。昨年度の文化祭は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりましたが、今年度はコロナ禍でも感染防止対策を講じた上で、工夫をしながら実施しました。この度は無観客で、生徒・教職員のみでの実施となりましたが、生徒たちの笑顔あふれる文化祭になりました。生徒たちは放課後や休憩時間を利用して、クラス企画の準備やクラス旗の作成に励みました。



◎「因島の明日をつくる」プロフェッショナルインタビュー

生徒が「地元を知り、自身の郷土を誇り、自身の明日をつくる力」をつけていく取組として、6月21日(月)から2年生60名が因島の20事業所へ電話や訪問等でインタビューを行いました。そのインタビューを基に「その事業所ならではの」取組・魅力に注目した事業所PR動画を作成していきます。今後は、事業所の方にもご覧いただき、助言等をいただきながら、より良い動画に仕上げ取組を計画しています。各事業所の皆様、御多用にもかかわらず御協力をいただき、ありがとうございます。

「地元」再発見



「自分」新発見



地区総体・県総体の活躍

<陸上競技部>

【地区総体】・男子5000m 8位 ・女子100m 8位
【県総体】・男子5000m出場(1名) 予選敗退



<サッカー部>

【地区総体】 1回戦敗退

<ソフトテニス部>

【地区総体】

女子団体 因島2-1 忠海, 因島0-3 三原
男子団体 因島0-3 尾道東
個人戦 村井・稲澤ペア ベスト16

【県総体】

女子団体 因島0-3 国際学院

<体操部>

【地区総体】

女子団体総合 1位
男子団体総合 2位
女子個人総合 1位 岸菜 紅杏
2位 村上 蒼伽
3位 宮地 海月
4位 池田 るい
男子個人総合 1位 土井田海翔



【県総体】

女子団体総合 4位 男子団体総合 3位

<バドミントン部>

【地区総体】

団体戦 男女とも、県総体出場

【県総体】

男子団体 因島0-3 盈進
女子団体 因島0-3 五日市



<卓球部>

【地区総体】

男子団体 県大会出場
男子ダブルス 越智・松浦組 第三位, 県総体出場
男子シングルス 片島 颯汰 県総体出場

【県総体】

男子団体 因島1-3 広大附属

<剣道部>

【地区総体】

個人戦 1回戦 因島0-1 広島商船

団体戦 地区合同チームとして参加 3-2で勝利

【県総体】 因島0-2 舟入高校

因島高等学校 定時制課程

令和2年12月~令和3年11月

<令和2年度>

◎生徒会執行部新旧交代式 12/17(木)

12月17日(木) 新旧の生徒会執行部交代式を行いました。旧執行部の代表から、コロナ禍の困難を共有し、協力してくれたことへの感謝と、新しい執行部を支えてもらえるようお願いを込めた挨拶がされました。新会長を中心に六人の力を合わせ一年間頑張ってください。



◎健康教育講演会 2/2(火)

2月2日(火)、新型コロナウイルス感染症予防の知識を知り、意識的に行動できる姿をめざし「手洗い実験」を行いました。

例年は、外部講師を招き講演会をしていましたが、生徒が主体的に参加できるよう形を変えました。教頭先生の挨拶で、日本初の新型コロナウイルス感染者が出た日や年間死者数がインフルエンザを超えた話等、テーマに沿った話で生徒の興味を引く導入をしていただきました。



◎予餞会 2/19(金)

2月19日(金)に卒業式に先立ち予餞会を行いました。卒業予定10名のうち8名の参加でした。

まずは、体育館でキックベースボールを行い、その後は定時制食堂に移り、本校に関する三択クイズ、そしての先生の若い頃(約50年前)の写真を見て誰か

を当てるクイズ等、景品も用意され大いに盛り上がりました。



◎卒業証書授与式 3/1(月)

3月1日(月)に「令和2年度 卒業証書授与式」が行われました。今年度も感染予防対策により、来賓をお迎えすることを控えました。卒業生と保護者、教職員、在校生は代表のみの参加としました。3年次生(3修生)2名と4年次生8名の合計10名の卒業生が、卒業証書を手に入れました。

その後は倉田雄司校長先生の式辞、在校生代表の岡野留伊くんからは送辞、卒業生代表の箱崎詩乃さんの答辞。10名の卒業生は、晴れ晴れしく堂々と因島高校定時制を巣立っていきました。



<令和3年度>

◎入学式 4/7(水)

4月7日(水)に入学式を行いました。今年の新入生は2人です。担任の誘導のもと拍手で迎えられ入場しました。

倉田校長先生から「本校は、創立100周年を迎え、自重互敬を校訓に掲げ、生徒1人1人が、自他を尊重する心と進取の精神を持ち、夢と目標に向かって、力強く前進していますとの紹介があり、高校生活では、自ら進んで学ぶ事、多様性を尊重する事の2つを実行してほしい。そして成長してってください」とのお話がありました。



◎離任任式 4/9(金)

4月9日(金) 離任任式を行いました。石田光敏教頭先生、戸田修三先生、村上紀子先生、西山理恵先生の四名の先生が本校を去られることになりました。4名の先生には大変お世話になりました。ありがとうございました。今後のご活躍を祈念いたします。



◎新入生歓迎会 4/16(金)

令和3年4月16日(金)、コロナ感染症対策を徹底し、新入生歓迎会を実施しました。まずは体育館でドッジボール大会を行いました。

会が終了するころには新入生の2名も先輩と打ち解けることができていたようです。



◎球技大会 6/29(火)

6月29日(火)コロナ感染症対策を徹底し、球技大会を実施しました。まずは体育館でバレーボール大会。学年混成チームのため、最初は譲り合ったり、連係プレーが上手くいかなかったりしていましたが、試合が白熱してくると自然と声を掛け合い、励ましあいながら勝利を目指して必死に戦う姿が見られました。また個人技では、ジャンピングサーブあり、強烈なアタックあり、スーパーレシーブありと、とてもハイレベルなプレーが見られ、大変な盛り上がりを見せました。

とても思い出に残る一日となりました。



◎デイ・キャンプ 7/16(金)

7月16日(金)に、デイ・キャンプを因島アメニティ公園で行いました。小雨模様でしたが、雨がひど

くならないことを願いつつ、決行しました。例年使っていた交流棟が改装工事中だったために、駐車場に集合し、開会式を行いました。片付けもみんなが協力して「来た時よりも美しく」を実行しました。



◎卒業生体験報告会 8/30(月)

8月30日(月)に2学期始業式が行われ、引き続き卒業生体験報告会が行われました。令和2年度卒業生2名が来てくださり、自己紹介の後、インタビュー形式で、仕事場での生活について、また高校生活をどのように過ごせば充実した生活を過ごすことができるか、という質問に答えて頂きました。

卒業生の皆さんお忙しいなか来てくださり、ありがとうございました。



◎合同運動会 10/2(土)

10月2日(土) 三原高校に於いて尾三地区定時制生徒会連合会第39回合同運動会を行いました。今年度もグラウンドでの開催でしたが、天候にも恵まれ、生徒たちは、準備・練習の成果を十分に発揮することができました。実行委員長の開会宣言により始まり、本番がスタートしました。今年も因島からはさくくんが応援に駆けつけてくれました。



◎避難訓練 10/14(木)

10月14日(木)火災を想定した避難訓練を実施しました。今年度は、因島消防署が御都合で来られなくなり、その中での避難訓練となりました。火災を知らせるベルが鳴り、臨場感のある緊急放送で訓練が始まりました。この行事をきっかけに、災害についての意識を高めていければよいと思いました。



◎県選手権種目別選手権大会 10/17(日)

10月17日(日)福山葦陽高校体育館で第51回広島県高等学校定時制通信制種目別選手権大会(バドミントン)があり、本校生徒が参加しました。夏休みから本格的に練習を始め、緊急事態宣言もありなかなか練習の時間が確保できない中大会に臨みました。接戦の末、見事大会初勝利を挙げました。惜しくも準決勝で敗退してしまいましたが、初の大会で堂々の3位入賞でした。次は来年度の総合体育大会に向けて、練習を頑張っていきますので応援よろしくお願ひします。



◎オープンスクール・公開授業 11/12(金)

11月12日(金)オープンスクールを開催しました。中学生・保護者・中学校教職員あわせて20名の参加がありました。始めに本校紹介ビデオをご覧いただきました。次に本校定時制教育の特徴(3年で卒業できるコース・4年で卒業できるコースなど)について説明を行い、その後学校行事や卒業後の進路などについて説明を行いました。来年度の進路決定に向けて十分な情報提供ができたと思います。



◎第34回文化祭 11/20(土)

令和3年11月20日(土)に第34回文化祭を開催しました。今年のテーマは「コロナ禍で因定の本気を見せろ!」でした。テーマについては、コロナに負けずに学校生活を送ろうと生徒会の中から提案されました。

開会式では、尾三定連の加盟校からのメッセージ紹介や創立百周年を記念してつくられた因島高校定時制の学校紹介ビデオの上映が行われました。その後披露された水軍太鼓では、練習した成果を披露しました。特に今年が最後となる3・4年生のソロパートではとても盛り上がりました。その後は、バザーと展示。展示コーナーには生徒の日々の学習の成果が展示され、多くの方に見ていただけました。



支部だより

東京支部



因島高校同窓会東京支部
支部長 村田 英夫

新年明けましておめでとうございます。

2019年冬に発生した新型コロナウイルス感染症は、ワクチン接種等の対策は進んでいるものの、今だに収束の気配が感じられません。直近では新型のオミクロン株の出現もあり、市中感染の脅威を心配しています。

一昨年から4回もの緊急事態宣言が発出され、感染防止の為に3密回避や人流の抑制が求められ、各種イベントの制限や中止、リモートワークの推進、旅行や不要不急の外出自粛、家族・友人との交流のあり方に至るまで防止対策が私たちに求められています。

今年も、マスクが手放せずウイズコロナでの我慢の年になりそうですが、同窓生の皆さまにとって健康で明るく楽しい生活が一日でも早く訪れるよう、コロナの終息を心より願っています。

昨年2020東京オリンピック・パラリンピックが一年遅れでコロナ禍の中、無観客開催となりました。少年少女の活躍や世代を超えた日本人選手の輝きやメダル獲得に、テレビの前で多いに応援し大きな感動を頂きました。

また、延期になっていた因島高校創立100周年記念式典が、感染状況が落ち着いた10月30日に感染防止の徹底の為に規模を縮小して因島高校体育館で開催され、私も2年数か月振りには帰省し出席させて頂きました。

在校生・教職員・同窓生・ご来賓の皆さまと共に100周年のお祝いをする中で、その歴史と伝統に強い誇りを覚え、島唯一の高等学校となった母校の未来永劫の発展を願わずにはられません。

さて、このような中での昨年の東京支部の活動状況も支部役員会や例年恒例のイベントはことごとく中止となり、今年は残念ながらご報告することは特にありませんでした。

そんな中でしたが、東京支部の事務局次長や会計幹事を務めて頂き、大手企業の中堅幹部としても頑張っていた、平成5年卒業の村上征司さんが因島の株式会社トロムソ（社長の上杉正章さんとは因島高校の同級生）にその能力・経験を乞われてUターン転職された事をご報告いたします。



(会計報告をする
村上 征司さん)

造船の技術を生かしたもみ殻の固形燃料製造装置を、国内や海外に製造販売しているオンリーワン企業でこれからの村上征司さんの活躍と共に株式会社トロムソのご発展を心より期待しています。



東京支部の同窓生は、平成初期の最盛期には関東近県で、1500人近くの同窓生が名簿確認されていましたが、直近では連絡を希望される方に名簿を絞ったこともあり、700名程度にまで連絡先は減少しています。

年齢を重ねれば重ねるほど生まれ育った故郷因島が懐かしく思い出されるのは私だけでは無いと確信いた

します。

東京支部は仕事をリタイアした高齢者の占める割合が増えており、同窓会活動の再開や支部総会での同窓生との再会を心待ちにされていることでしょう。

多くの同窓生の中には、専門知識や技術・国家資格を保有され、自営で弁護士事務所や経理・行政書士事務所を営まれてる方や病院・クリニックを営んでいる方々がいらっしゃいます。

今回は昭和50年の卒業で横浜戸塚駅前で山路整形外科クリニックを営まれる山路修身さんをご紹介します。

神奈川にご在住の方には、特に、整形外科関係で治療評判の高いクリニックなので朗報ではないでしょうか。是非診療相談されてみては如何でしょうか？ ホームページ

<http://yamaji-op.jp/greeting.html>

最後に東京支部の総会開催につきましては早く開催したいと思いつつも、コロナ禍の影響で関西・広島支部の総会順延により、当初の開催予定を変更調整をしており、2024年頃の開催となる見込みです。

同窓生の皆さま、何卒ご了承の程宜しくお願い致します。



(クリニック外観)



(クリニック入り口)



(院長の山路修身さん)

ふるさとを知ろう ⑨

うま がみ じょうせき

馬神城跡

馬神山は海拔91.6m、因島の最北端に位置し山頂に本丸を置き、その西側の一段と低いところに二の丸を設けてている。

築城当時は馬神山は、重井湾に浮かぶ離島であったと推測される。

永年12年(1567)青木城を築城した因島村上水軍6代村上新蔵人吉充の命をうけ、御用人頭、第三家老の末永矢治馬介景光が居城したと伝えられる。千百三十貫領であった。

厳島合戦(弘治元年・1555)では棟梁の吉充がまだ若輩者であったので、因島で本陣を固め、因島村上水軍を率いて陣頭に立ったのは末永であったと伝えられる。この山で採石中に岩の間から朱の詰まった壺と小判などが出たと言いつづがあるが、所在は明らかでない。

現在二の丸跡に、馬神大明神・妙見大菩薩・大山神社が祀ってある。南西の崖ぎわに素朴な灯籠が一基立っている。

■所在地：尾道市因島重井町 旧因島市の文化財探訪より



関西支部

第15回関西支部総会について



因島高校同窓会関西支部
支部長 村上 晋

あけましておめでと
うございます。

今年は寅年。冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれるというイメージがあります。皆さんにとって健康で明るく楽しい生活が送れる一年でありますよう心よりお祈り申し上げます。

新型コロナウイルスの感染がやっ
と落ち着いてきたと安堵してきたと
ころ、変異種「オミクロン株」の市
中感染が広がりを見せつつあり、ま
だ安心できる状況ではありません。
引き続き、常にマスクを着用し、密
閉空間、密集場所、密接場面の3つ
の密を避け、不要不急の外出を控え
なければなりません。同窓生のみな
さんも、健康第一ですので、くれぐ
れもご自愛ください。

第15回関西支部総会については、
当初、一昨年6月7日(日)に設定し
ましたが、コロナ禍が終息しないの
で、半年ごとに設定を繰り返してき
ました。そして今年、次の通り予定
しています。

- ・日時 令和4年6月18日(土)
11時～約2時間半
- ・場所 ホテルグランヴィア大阪
TEL: 06-6344-1235
〒530-0001
大阪市北区梅田3丁目1番1号

今度こそ、総会が開催できて、多
くの同窓生が元気で集い旧交を温め
会うことができることを切に願って
おります。

同窓会には卒業生と母校とのつな
がり軸として、会員相互の親睦、
母校の支援、郷土や社会への貢献と
いった目的を達成することが求めら
れています。同窓会に出ると脳が活
性化されます。それは、昔の記憶を
蘇らせるからです。友だちと昔話を
すると、若い時の感動を思い出し、楽
しい気持ちになります。リラックス
して副交感神経が活発になるので、
健康にもいいのです。

年を取り、姿かたちに変化があっ

たにせよ、一瞬にして青春時代にタ
イムスリップして、昔のように歓談
できるから、同窓会は楽しいのです。

昨年、同級生の村井弘明氏が亡く
なられました。同窓会の発展に長い
間、貢献され、また、同窓生との交
わりをこよなく愛し楽しんだ方でし
た。数年前、同級生の女性が亡くな
られました。何十年振りかの再会を
心から喜び、総会だけでなく、新年
会、忘年会、バス旅行など、いつも
着物姿で参加され、幼馴染みと大喜
びで語り合っていました。お二人と
も、同窓会のいろいろなイベントを
満喫されていたらっしゃいました。懐
かしい思い出です。

友人、知人たちの逝去の知らせを
聞いて、いい一生だったなあ、立派
に生きたなあと思うことが多いが、
もっと生きたかっただろうなあと思
うこともあります。年を取ると、も
うどっちへ転んでも大したことはあ
りません。何しろ持ち時間が長くな
いのです。残っている重要な仕事は、
内的な自己の完成だけです。

自分はどのような人間で、どうい
うふうに生きて、それにどういう意
味があったのか、それを発見して死ぬ
のが、人間の目的のような気もしま
す。大切なことは「感謝すること」と
「与えること」だと思います。何も
ない日常生活でも、食べたり見たり
聞いたり笑ったりできることが、か
げがえのないことなのです。もし身
体が不自由になっても、周りの人た
ちに笑顔で接することで貴重な何か
を与えることができます。

広島支部



因島高校同窓会広島支部
支部長 小林 章三

同窓生の皆さま明け
ましておめでとうございます。コロナは、第
5波後多少落ち着いた
のかと思いきや、この会報誌が発行
(2月中旬)頃は第6波もどうなっ
ているのか。

新変異株「オミクロン株」は重症
化リスクこそ低いも、感染力は強く
早い特徴があるとのこと。今回は全
国に先んじて沖縄、山口、広島県が
早くもまん延防止等重点措置が適用

され緊急事態宣言への移行も想定さ
れています。年末、年始のたがが緩
んだのかがっかりです。新任の岸田
首相もこの事態収拾に振り回され本
来の政策実現が懸念されます。

そんな訳で、この2年近く支部の
活動、イベントも開催出来てなく報
告する内容が伴いません。したがっ
て以下一部同窓会から離れた内容の
報告になりますがご容赦願います。
そんな中、一年遅れで昨年10月30日
に本部にて、創立100周年記念式典が
執り行われました。当然出席のハガ
キを出しておりましたが、直前にな
って50肩になって右手が上がらな
くなり、車の運転もままならない状態
となり急遽欠席の連絡をしました。

今もって、検診と電気治療ばかり
ハビリ通院中です。当日の資料は出
席した事務局長経由で頂きましたが
詳しくは、本部の報告をご確認願
います。

支部の総会も延び延びになっ
てますが、年末に100周年記念行事の報告
会を兼ね他支部の状況、広島支部の
今後の総会、イベント等の情報交換、
意見交換としてミニ役員会を開催し
ました。

前にも、ご紹介しましたコロナ対
策の一環でなかなか会えない遠隔家
族、友人知人、ひいては同窓会等のコ
ミニケーションツールとしてZOOM
に取り組んでおります。一言でい
えばテレビ電話です。学校での遠隔授
業、会社でのリモートワークです。
無料の範疇でライブでパソコン又は
スマホで繋がりますので顔色をう
かがいながら元気確認方々相互通信
できます。未だグルーピングが完成し
ておりませんが2グループは定例化
して面白可笑しくやっています。

個人的に5～6年前年賀状を欠礼
宣言をしてその分SNSで上記Z
OOM、ほかFACEBOOK、ライン
でタイムリーにコミュニケーションを
取り合っています。機会がありました
らよろしく願います。

今回の寄稿はネタ不足からとりと
めのない内容になりましたが、つい
でにシニア川柳三句読み上げペンを
置きます。

「つまずいて足元見るが何もなし」
「すっぴんに隣の犬も後ずさり」
「叱った子に、
今は優しく手を引かれ」
出所不明

本部だより
近況活動報告

- 令和3年4月7日(水)
全日・定時制入学式
(因島高等学校体育館)
新型コロナにより来賓不参加にて行われ、会長以下不参加。
- 令和3年4月21日(水)
100周年記念式典準備委員会
学校の連絡会議開始
(因島高校会議室)
- 令和3年5月4日(月)
第21回ゴルフコンペ
(京覧カントリークラブ)
新型コロナの影響により中止
- 令和3年5月8日(土)
100周年実行委員会・学校、PTAとの連絡会議
(因島高校会議室)
- 令和3年6月11日(金)
～9月17日(金)
100周年記念式典準備委員会
学校の連絡会議開始
(因島高校会議室)
- 令和3年8月15日(日)
令和3年度本部総会懇親会
(ポートピア土生)
新型コロナの影響により中止
- 令和3年9月17日(金)
体育祭
(因島高校)
- 令和3年10月8日(金)
100周年実行委員会・学校、PTAとの最終確認
(因島高校会議室)
- 令和3年10月11日(月)
100周年実行委員会役員会
(サンロード会議室)
- 令和3年10月30日(土)
創立100周年記念式典
(因島高校)
- 令和3年11月15日(月)
会計監査
(サンロード会議室)
前年度の会計監査を受けました。
- 令和3年11月18日(木)
100周年記念誌作成の連絡協議会
(因島高校)

- 令和3年12月18日(土)
本部総会忘年会
(なごみ処 八咲)
- 令和4年1月21日(金)
本部新年役員会
(なごみ処 八咲)

**因島高校100周年記念
クボタ社長が講演「やればできる」**



クボタ社長北尾氏と因島高校生

10月30日の因島高校創立 100周年記念式典において株式会社クボタ代表取締役社長北尾裕一氏が一時間にわたって「『やればできる』～明治から令和に受け継がれる久保田権四郎翁の精神とクボタ～」と題して、創業者で因島大浜町出身の久保田権四郎翁のDNAを社員全体が受け継ぎ、新たな課題に向かって取り組んでいる、という力強い記念講演がありました。

記念式典は、同窓会村上弘文会長を先頭に、実行委員会新川征彦委員長、同窓会役員らによって準備され当日の受付、司会運営から車の案内に至るまで、生徒自身が中心になって行なわれました。

記念講演のダイジェスト動画はYouTubeでみることができます。
https://youtu.be/i63_aNfLBhk

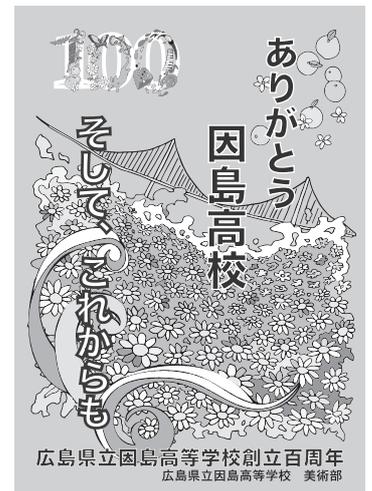
「会報誌」の購読をお願いします。

同窓会本部では、会報誌の購読をお願いしています。本会計とは別に独立採算で運営しているため、購読の協力は必要不可欠なものです。

会報誌は、母校や故郷を知っていただける便りです。

会報誌が届きましたら、1回1,000円のご協力をお願いします。振込用紙の金額を訂正加筆で複数年分も受け付けます。

口座番号 01390-2-40303
加入者名 因島高等学校同窓会
振込用紙を同封しております。



因島高校美術部の作品

令和元年度の決算をご報告いたします

一般会計収支計算書

自 令和2年4月1日～至 令和3年3月31日
単位 円

科 目	予算額	決算額
前期繰越金	4,117,869	4,117,869
入 会 金	270,000	279,000
購 読 料	100,000	270,000
終 身 会 費	200,000	40,000
広 告 収 入	500,000	0
総 会 会 費	0	0
雑 収 入	31	35
計	5,187,900	4,706,904
会 議 費	100,000	2,703
総 会 助 成 金	200,000	0
通 信 費	150,000	146,916
事 務 費	150,000	195,470
印 刷 費	300,000	248,160
総 会 費	100,000	51,700
旅 費	100,000	0
事 業 費	50,000	0
光 熱 費	15,000	12,613
振 替 料	30,000	45,910
計	1,195,000	703,472
当期剰余金	3,992,900	4,003,432

終身会費の随時納入を!

同窓生の皆様に、同窓会運営のため終身会費10,000円の協力をお願いしています。母校同窓会の発展のために振込みをお願いします。

同窓会の充実活性化は、母校の発展につながります。是非皆様方にご理解をいただき、終身会費の振込みをお願いいたします。

口座番号 01330-4-109418
加入者名 因島高等学校同窓会
お問合せ 事務局長 村上克広
尾道市因島重井町5574
電話090-1338-1266

寄稿



因島高校元教諭
橋原 武和

記事の依頼が近況報告ということであったが、それでは書くに値する内容が充分にないので、せめて私が因島高校27年間勤務の中で、学校以外で誰にも知られていない事を生存中に知っていただきたいと思ひ書きます。

前任校を十数年間勤務して母校因島高校へ1979年に転勤してきました。

当時は3年生だけで7学級あり315人程の生徒がいました。まだ因島大橋はかかってなく、因島5つの中学校から尾道方面の高校へ行く生徒は4名か5名程でした。

英語のレベルも高く3年生の授業には毎晩英和辞典で翌日の授業を英語で説明したプリントを作り、全生徒に配布して指導しました。

最初の3年生は60名程が共通一次試験を受験しました。冬休みにセンター用の補習をすると、あの視聴覚教室が超満員。大晦日もやっていました。

時代は変わり2000年頃の因島高校は髪の色いのやら、ピアスをしたのやら、ルーズソックスで登校する生徒が多く、荒れていました。

生徒指導部のなり手がなく、若い元気のいい先生方が「親と対応するのは親の年齢に近い橋原先生がやるなら、生徒達の指導は若手の自分達がやる」との依頼を受け、生徒指導部のキャップを引き受け、5人の先生が集まりました。

60人の教師の協力でピアスも85個卒業まで預かるということで、徐々に町の因島高校を見る目も変わってきました。

当時、因島市の小中学校も荒れていて、市教育委員会が小中の先生に講演をしてくれるよう依頼され快く受諾しました。

2000年の土生校舎85年の閉校式でも、中国新聞社を迎え、因島高校を代表して講演させて頂きました。

教師退職後2年して2008年に関西支部長の金子氏より、大阪の総会で講演するように要請があったので、「因島高校教員時代の想い出」という題目で200名を越す会員の前で1時間程講演しました。



同窓会の仕事では、事務局長を井上校長時代に3年やりました。

因島高校同窓会本部の総会・懇親会は、近年台風やコロナ過で中止になっていますが、41の当番回生以来、約35回回は全部出席して卒業生に喜ばれています。

個人的なことでは、53歳のときに故村上敏明先生に勧められて、広島県陸上マスターズに入りました。

退職の60歳になった2001年に広島市ビックアーチで全日本陸上マスターズ大会が開かれました。予選で60歳の部で100メートル13秒8で優勝して全国大会の「100×4」のリレーメンバーに選出、46都道府県のタイムレースで優勝し、当時の知事藤田雄山氏に私を含め4人が表彰を受けました。



退職後は、19年間因島中庄町で中高生向けに橋原英語塾を開塾し、昨年2021年3月31日に閉塾、55年間の仕事をすべてやめました。

今、自宅で想像できないようなのんびりとした生活で1ヶ月程はよかったですのですが、生徒が周囲にはいない生活は55年間で初めてで、寂しくてノイローゼになりそうでした。

幸い、横浜に中学3年生になる孫がいて、リモート(LINE音声通話)で週4日2時間づつ英語を教えているので、惚け防止には役立っています。「毎日趣味の釣りにいって瀬戸内の魚をみな釣ってやる」と家内に豪語していましたが、時間がいくらかでもあると、足は海に向かないものですね。

毎日、自宅から「しまなみ海道」を見下す高台まで3キロのスロージョギングをしています。雨の日は傘をさして歩きます。元気です。

◎この記事を読んでいる会員の方に。

現役で元気に働いている人は、体力気力があれば、続く限り現役でいて下さい。私の経験からです。

寄稿

将棋世界編集長 田名後健吾 (昭和61年卒業)

◎思い出のふるさと探訪

因島高OB (北校61年卒) で月刊誌「将棋世界」編集長の田名後健吾さん(54歳・東京在住)が、年末2年ぶりに因島に帰省。ふるさとの思い出の地を訪れました。



ペーパームーン(土生)にて同級生と田名後さん(右)



大好評発売中

ミツイシャ(田熊)

高校時代、学校帰りに毎日のように覗いていた懐かしの「ミツイシャ」。当時と変わらない佇まいで営業していました。YMO関連のレコードの多くをここで買いました。今はポルノグラフィティをアピールしているみたいですね。おそらく因島のレコード店はここだけになってしまったと思うので頑張ってほしいです。



ミツイシャ

因島図書館(土生)

因島にも立派な図書館がある。「囲碁将棋」というカテゴリがあったので覗いてみたところ、本棚いっぱい囲碁の本はあったものの、不思議なことに将棋の本は1冊も見当たらない。因島は本因坊秀策を生んだ島だし、「ヒカルの碁」で有名になったからある程度は理解はしているつもりだ。しかしいくらなんでも1冊もないということはなかろうかと思ひ、丹念に確かめたが、ついに見つけることができなかつた。両隣り、裏の本棚も見たがやっぱりない。せめて自分が苦勞して作った藤井聡太ムックだけでも置いてくださいな。因島にだって将棋連盟支部があるのだから～。

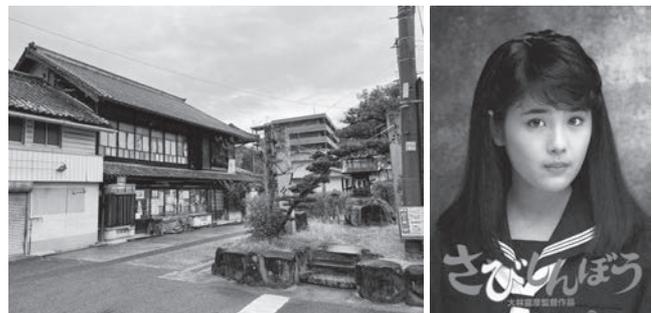


因島図書館

東浜明神社付近(田熊)

故・大林宣彦監督の名画「さびしんぼう」は尾道が舞台の映画ですが、一部のシーンを因島でロケしています。高校2年の冬、この場所で夜のシーンの撮影を見学しました。初めて見た富田靖子さんは信じられないぐらいキレイでした。寒空の下で、翌朝の新聞配達の間まで徹夜で見続けました。このロケを見て東京に出る決心をしました。

(高校卒業後、俳優専門学校に入学。同窓生に的場浩司がいる。その後、将棋好きが高じて日本将棋連盟へ)



東浜明神

さびしんぼう 富田靖子

創立100周年記念事業実行委員会だより



活動報告

1. 実行委員会
 - 第1回（設立総会）
令和元年10月4日（金）19:00～ 因島高校会議室
 - 第2回実行委員会・忘年会
令和元年12月6日（金）18:30～ ホテルいんのしま
 - 第3回実行委員会・新年会
令和2年2月14日（金）18:00～ なごみ処 八咲
 - 第4回実行委員会
令和2年8月28日（金）19:00～ 因島高校会議室
 - 第5回実行委員会
令和3年1月15日（金）18:00～ サンロード会議室
 - 第6回実行委員会
令和3年12月18日（土）18:00～ なごみ処 八咲
2. 役員会
令和元年10月25日（金）18:30～ 因島高校会議室
令和2年 3/26 5/7 6/12 7/10 8/7 9/10 10/2 11/13 12/28 サンロード
令和3年 4/9 10/11
3. その他の会議等
 - ・区長会へ募金協力をお願い（連合会会議出席）
 - ・学校、PTAとの会議
令和2年 4/28 5/14 6/25（PTA）
 - ・クボタ関係者歓迎会
令和3年10月29日 ナティーク城山
4. 区長会連合会寄附金贈呈式
令和2年9月14日（月）13:30～ 因島総合支所
5. 記念事業進捗状況視察
令和2年12月3日（木）14:00～ 因島高校
6. 創立100周年記念碑竣工除幕式
令和2年12月23日（水）10:40～ 因島高校
7. 記念式典準備委員会
令和3年 4/21 5/8 6/11 6/18 6/25 7/20 8/11 8/27
9/17 9/21（クボタ関係者） 10/8（全11回）
8. 創立100周年記念式典・記念講演
令和3年10月30日（土）13:00～ 因島高等学校
9. 記念誌編集委員会
令和3年 11/18 12/9 12/22 1/11
令和4年 1月 印刷依頼 2月 完成・発送（予定）



実施事業報告

- 体育館冷風機設置
- 各教室ICT教育機器設置
- トレーニングルーム機器の拡充整備
- プラネタリウム補修
- ラーニングcommons教室拡充・機器設置
- 記念碑設置



▲記念碑

終身会費納入者名簿

令和4年2月10日現在

終身会費を納入された方を掲載し御礼といたします。振込後、ご逝去された方もおられます。

昭和15年卒 松浦 幸子	昭和17年卒 森 春子	昭和19年卒 織田美恵子	昭和20年卒 佐藤カヅ工	昭和21年卒 越智 良子	昭和22年卒 藤岡 光恵	昭和24年卒 菅原美智子	昭和25年卒 石田 三郎	昭和26年卒 井川 勝登	昭和27年卒 宇里 恭子	昭和28年卒 磯部 眞人	昭和29年卒 今井 洋子	昭和30年卒 岡野 スエミ	昭和31年卒 村上 敏明	昭和32年卒 藤井 敏子	昭和33年卒 岡野 代江	昭和34年卒 村上 敏明	昭和35年卒 近藤 成子	昭和36年卒 岡野 登郎	昭和37年卒 村上 敏明	昭和38年卒 酒井 健次	昭和39年卒 青木 幸子	昭和40年卒 村上 敏明	昭和41年卒 村上 敏明	昭和42年卒 松浦 幸子	昭和43年卒 村上 敏明	昭和44年卒 村上 敏明	昭和45年卒 村上 敏明	昭和46年卒 村上 敏明	昭和47年卒 村上 敏明	昭和48年卒 村上 敏明	昭和49年卒 村上 敏明	昭和50年卒 村上 敏明	昭和51年卒 村上 敏明	昭和52年卒 村上 敏明	昭和53年卒 村上 敏明	昭和54年卒 村上 敏明	昭和55年卒 村上 敏明	昭和56年卒 村上 敏明	昭和57年卒 村上 敏明	昭和58年卒 村上 敏明	昭和59年卒 村上 敏明	昭和60年卒 村上 敏明	昭和61年卒 村上 敏明	昭和62年卒 村上 敏明	昭和63年卒 村上 敏明	昭和64年卒 村上 敏明	昭和65年卒 村上 敏明	昭和66年卒 村上 敏明	昭和67年卒 村上 敏明	昭和68年卒 村上 敏明	昭和69年卒 村上 敏明	昭和70年卒 村上 敏明	昭和71年卒 村上 敏明	昭和72年卒 村上 敏明	昭和73年卒 村上 敏明	昭和74年卒 村上 敏明	昭和75年卒 村上 敏明	昭和76年卒 村上 敏明	昭和77年卒 村上 敏明	昭和78年卒 村上 敏明	昭和79年卒 村上 敏明	昭和80年卒 村上 敏明	昭和81年卒 村上 敏明	昭和82年卒 村上 敏明	昭和83年卒 村上 敏明	昭和84年卒 村上 敏明	昭和85年卒 村上 敏明	昭和86年卒 村上 敏明	昭和87年卒 村上 敏明	昭和88年卒 村上 敏明	昭和89年卒 村上 敏明	昭和90年卒 村上 敏明	昭和91年卒 村上 敏明	昭和92年卒 村上 敏明	昭和93年卒 村上 敏明	昭和94年卒 村上 敏明	昭和95年卒 村上 敏明	昭和96年卒 村上 敏明	昭和97年卒 村上 敏明	昭和98年卒 村上 敏明	昭和99年卒 村上 敏明	昭和100年卒 村上 敏明
-----------------	----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	------------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	------------------

2021年2月～2022年2月

ふるさと便り



空き家募集！因島空き家バンク

「因島空き家バンク」がスタートして6月で2年になります。登録された物件37件のうち15件が成約しました。

「空き家バンク」とは空き家の売却・賃貸を希望する人から申し込みを受けた情報を、買いたい・借りたい人に紹介する制度。対象地域は因島地域全域。

【問い合わせ】TEL0845-22-9640
専用ホームページ <https://akiyabank.in/>

因島 空き家バンク

因島高校で絵画教室 福井江太郎画伯がライブパフォーマンス

ニューヨークと東京を拠点にして世界的に活躍する日本画家の福井江太郎さんが11月25日、因島高校体育館で公開制作と講演会を行ないました。

福井さんは全校生徒208人を前に、「因島高校に良いことが訪れますようにとの願いをこめて」手に墨をつけて大きな龍を描くライブパフォーマンスをしました。

その後、会場の体育館に展示された約100点の絵画や工芸品の鑑賞が行なわれました。

これらの展示や公開制作講演会の企画は、因島高校同窓会村上弘文会長の協力によって実現しました。ライブパフォーマンスの様子はYouTubeで見ることができます。

<https://youtu.be/Q4LjZe9v54A>



①生徒の前で龍を描く福井画伯



福井画伯と村上弘文会長

第21回

因島高校同窓会ゴルフコンペ

新型コロナウイルスのため、中止しました。コロナに打ち勝ち、開催されることをご期待ください。

事務局 村上 公俊 (有)ナイスウエア内 TEL0845-24-3128



因島高校同窓会

検索

検索クリック!

パソコン検索で「因島高校同窓会」と入力してください。「Facebook」「YouTube」をご覧ください。

事務局だより



事務局長 村上 克広 (S49年卒)

同窓会の皆様、お元気でしょうか？少し落ち着いたかに思われた新型コロナウイルスも、オミクロン株なる変異株で第6波に再突入し、過去最多の感染者数を記録しております。幸いにも、コロナの少し落ちついている間の、昨年10月30日(土) 100周年記念式典及び(株)クボタの社長様を講師にお迎えしての記念講演を無事開催することができました。残念ながら、祝宴は中止といたしました。盛会に終えることができました。ただ、コロナ対策に細心の注意を払い、出席者を極力抑えることとしたため、広く同窓生の皆様をご案内することが出来ず、大変申し訳なく思っております。さりとて、記念事業も残すところ100周年記念誌の発刊と、締めくくりの総会開催のみとなり、3月中には全てを終える計画としております。

同窓会としても大きな区切りを終えることが出来、役員一同ホット、安堵いたしております。

学校行事に於いては、同窓会入会式は実施できたものの、卒業式、入学式は来賓なしでの実施と、昨年度と同様に、会長共々参列できないこととなってしまいました。

同窓会に於いても、本部総会をはじめ支部総会の延期と、前年度同様、多くの事業に影響がありました。何れにせよ、早くいつも通りに過ごせる日常が戻ることを願うばかりです。

ちなみに、例年8月実施の本部総会準備に取り掛かる時期が近づいています。今年こそ、いつも通りに開催し、同窓生の皆様が元気で再会できますよう心から祈りつつ、お別れいたします。



編集後記

新型コロナウイルス・温暖化・大規模災害・人権・ミサイル・核・少子化…等々のワードが紙面を賑わす。明るいニュースより暗く不安なニュースが圧倒的に多い。

今から100年さかのぼると、大正時代、電気も車もない時代を生きた人が、今の社会を予測した人がいたのだろうか。戦争と繁栄の昭和を経て、平成・令和へと長い月日を経て積み重ねた歴史、受け止め方はそれぞれだろう。

100歳間近で亡くなられた、尼僧で作家の瀬戸内寂聴さん『人はねえ 人を支えて 人に支えられて 幸せになるのねえ…』物がいくら変化・進化しよう、人の心根はそうあるべきだろうと感じる。

人生100年時代、次の100年先、どんな歴史が積み上げられる事だろう。

皆様のお幸せをお祈り致します。

村上 公俊

〒722-2102 尾道市因島重井町5119-3

TEL 0845-24-3128 FAX 0845-24-2004

会報誌に皆様の思いやニュースを投稿して下さい!

